

文献収集方法の詳細

1. 食品安全確保総合調査事業（2018年度）による文献収集方法

○ステップ1：「汚染物質評価書 カドミウム（第2版）」を取りまとめた平成22年（2010年）4月以降に公表された文献について、商用データベース等（MEDLINE、Embase、Toxfile、医中誌Web）による検索結果及び国際評価機関等の評価書で引用されている文献（特に食品用器具・容器包装から溶出したカドミウムに係る評価）を中心に収集。（期間：2010.1.1～2018.9.5）

→ 648件をリストアップ。

○ステップ2：本調査の目的から大きく外れる文献が含まれるため、以下の条件で一次スクリーニングを実施し、これらのうち、いずれかに該当するものを除外。

→ 335件をリストアップ。

【一次スクリーニングの方針】

- カドミウムを対象としていない、カドミウムに言及していないもの
- 環境中（土壌や鉱山など）のカドミウム量に関するもの
- カドミウムの測定手法に関するもの
- 動物実験の効果を測定するための要素としてカドミウムが用いられているもの（カドミウム投与により酸化ストレス状態を作り出している動物実験など）
- カドミウムの毒性を低減する物質に着目したもの
- 海外における食品・飲料水中のカドミウム濃度調査・ばく露量調査
- 代謝や実験動物による毒性に関して哺乳類以外を対象としたもの

○ステップ3：335の文献のうち、特に、網掛け¹している分類の視点（表1）に該当する文献を対象として、検討会の委員に、以下の3段階による評価を依頼した。

→ 125件²の文献の概要を作成することを決定。

- 1：重要であり文献概要を作成すべき
- 2：参考になる
- 3：文献概要作成の必要性は低い

→ 事務局で再整理を行い確認対象分家として81件をリストアップ。

¹ 網掛けの視点は、カドミウムのリスク評価を実施する際に必要となる知見を鑑み、重要な文献を選定するにあたり重視すべき点として、検討会で了承されたもの。

² 検討委員による選定114報に、STROBE statementの基準によって除外した文献を見直し、委員による確認を経て、概要を作成する文献として11件を追加して125報となっている。

表 1 調査事業検討委員による評価結果

項目	分類の視点		「重要であり文献概要を作成すべき」又は「参考になる」と評価された文献数 ³	
(ア) 一般情報	国内	器具・容器包装からの溶出に関する情報あり	2	
		ばく露量推計/リスク評価	2	
		総説その他（総説や国内の濃度調査など）	3	
	国外	器具・容器包装からの溶出に関する情報あり	4	
		ばく露量推計/リスク評価	6	
		総説その他（総説やリスク評価に関するものなど）	2	
	合計	-	19	
(イ) 代謝（生体内運命）	<i>in vivo</i>	ADME	13	
		母子間移行	2	
	総説	-	0	
	合計	-	15	
(エ) 実験動物に対する毒性	<i>in vivo</i>	毒性を明示	34	
		カドミウムと他の物質の同時投与による相互作用	0	
		その他（マウスやラットへのカドミウム投与による影響を見ているが、影響が指標の変動程度に留まり、毒性までは明示されていないものなど）	0	
	<i>in vitro</i>	毒性を明示	0	
		カドミウムと他の物質の同時投与による相互作用	0	
		その他（細胞を用いてカドミウム投与による影響を見ているが、毒性までは明示されていないものなど）	0	
	総説	-	0	
	合計	-	34	
	(ウ) 疫学調査等（ヒトへの影響）	国内	コホート研究もしくは症例対照研究	3
			横断研究	3
疫学その他（調査手法が明確でないもの）			0	
ヒト細胞を用いた研究			0	
総説その他			0	
国外		コホート研究もしくは症例対照研究	16	
		横断研究	24	
		疫学その他（調査手法が明確でないもの）	0	
		ヒト細胞を用いた研究	0	
		総説その他（総説など）	0	
合計		-	46	

※事務局によって再分類をした項目もあり最終分類結果とは一部異なる。

³ 少なくとも1名以上が「重要であり文献概要を作成すべき」又は「参考になる」と評価した文献数を示している。

2. 追加調査による文献収集方法

○ステップ1：PubMedにより調査事業で用いた検索式と同様（一部改変）の検索式を用いて検索し、文献を収集。（期間：2018.9.6～2021.4.1）

→ 453件をリストアップ。

○ステップ2：調査事業の一次スクリーニングで用いた項目をもとに一次スクリーニングを実施。

→ 287件をリストアップ。

○ステップ3：調査事業での「カドミウムのリスク評価を実施する際に必要となる知見を鑑み、重要な文献を選定するにあたり重視すべき点として、検討会で了承された」視点を踏まえ、確認対象文献と対象外文獻に選別。あわせて、子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）結果を用いたカドミウムに関する文献及び食品安全委員会委員から提供いただいた文献、国際評価機関等の報告書で引用されていた文献を追加。

→ 確認対象文献として84件をリストアップ。